

令和6年度第2回理事会の開催

令和6年度第2回理事会が令和6年6月26日、明治記念館・孔雀の間において開催された。本理事会では、協議事項、説明・報告事項、及び日本獣医師連盟の活動報告等について、説明・報告が行われた。議事概要は以下のとおりである。

令和6年度第2回理事会の議事概要

I 日時 令和6年6月26日(水) 10:30～12:00

II 場所 明治記念館・孔雀の間

III 出席者

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文、鳥海 弘、栗本まさ子

【専務理事】 境 政人

【地区理事】 田村 豊（北海道地区）

小山田富弥（東北地区）

宇佐美 晃（関東地区）

上野弘道（東京地区）

山田有仁（中部地区）

西山治生（近畿地区）

高島一昭（中国地区）

戒能 豪（四国地区）

草場治雄（九州地区）

【職域理事】 佐藤れえ子（学術・教育・研究職域理事）

立川文雄（産業動物臨床）

森 尚志（小動物臨床）

横尾 彰（家畜共済）

加地祥文（公衆衛生）

佐伯 潤（動物福祉・愛護）

【監事】 市川陽一郎、佐々木一弥、柴山隆史

【顧問】 酒井健夫、村中志朗

【欠席】 片岡辰一郎（家畜防疫・衛生）

IV 議事

【協議事項】

- 1 第81回通常総会対応に関する件
- 2 本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

【説明・報告事項】

- 1 マイクロチップ装着・登録の義務化に向けた対応に関する件
- 2 政策提言活動等に関する件
- 3 農場管理認定獣医師制度等に関する件
- 4 世界獣医師大会（WVAC）の日本開催に関する件
- 5 アジア獣医師会連合（FAVA）大会に関する件
- 6 その他

【その他の報告・連絡事項】

- 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件
- 3 その他

V 会議概要

【開会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

本日は令和6年度第2回理事会、大変お忙しい中にご出席をいただき、誠にありがとうございます。ご承知のとおり、この後午後から総会、そしてまた理事会等が続きますので、どうぞ最後までよろしくようお願い申し上げます。

日曜日に米国獣医師会のゼネラルミーティングに参加をし、帰ってまいりまして、その後、自見万博担当大臣と福岡で万博に関する国主催のシンポジウムが行われ、パネリストとして知事と一緒に話をいたしました。このとき、自見大臣の担当者から今回の万博は人と動物と環境、地球の命をしっかりと守っていく。そして持続可能な未来の社会をつくるための万博である、と聞かされました。

昨日、万博会場の事前視察許可をいただいたので見てまいりました。マスコミではパビリオン出展参加の取り消しなどが大きく報道されておりますが、取り消されているのはごく一部であり、ほぼ順調にスケジュールどおり進んでいるとの報告を聞きました。前回の大阪万博では岡本太郎さんの太陽の塔だったんですけれども、今度は木造のリング、1周3km、幅20mの歩道があるわけですけれども、素晴らしいものでありました。まさしくあれが人と動物と地球の命をつなぐ、未来に向けてつないでいくんだ、そういうことを表現しています。しかも木で造ったということが、いわゆる有限な資源、自然を大事にしなければならないというコンセプトだと聞きました。

福岡県はこの万博ではワンヘルスのブースを国と一緒に出させていただくことになっており、福岡県獣医師会に

も協力いただくようにしておりますので、ぜひ理事の先生方も大阪に足を運んでいただき、この万博を盛り上げていただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、先日の第1回理事会では、昨年度の決算における大きな支出超過についてご報告をさせていただいたところでございます。監事からの決算監査講評においても、赤字対応のための特定資産の取り崩し等を繰り返さぬよう、思い切った経費節減と実施事業の見直し、それらを担う事務局組織体制の在り方についても提言をいただいたところでございます。

本日はこれらの提言を踏まえ、事務事業に関する経費削減、改善案をご提示させていただきます。さらには、今後のわれわれを取り巻く状況を注視しながら、10年単位の事業展開等、長期的な展望も見据えつつ、可及的速やかに事務事業の見直し、組織運営に関わる課題解決をもって、国会財政の健全化に取り組みたいと思いますので、役員各位におかれましても忌憚のないご意見をお出しいただき、よろしくお願いを申し上げます。

一方、先般、佐賀県唐津市で捕獲されました野生イノシシにおいて、九州初となる豚熱感染が確認されました。九州は畜産業における産出額や飼育頭数などで全国首位を占める畜産王国でございます。豚においてもわが国の飼養豚の3分の1を占めており、これら飼養豚への感染リスクの高まりが懸念されております。

養豚診療獣医師の皆様におかれましては、養豚生産者に対する指導とともに、県市町村等の行政機関との連携等に主導的に取り組んでいただき、的確な防疫対策に尽力いただきたいと思います。

本会では、農場管理認定獣医師の制度化に取り組んでいるところでございますが、今回のような有事の際、高度な知識と技術をもって、農場経営の安定をはじめ、社会の要請に応え得る専門性の高い獣医師の育成に、今後とも努めてまいりたいと思っております。

本理事会のご審議の内容を踏まえ、午後より開催される第81回通常総会の適正な運営に資することとしたいと思っておりますので、何とぞご協力のほどお願いし、挨拶いたします。

【協議事項】

1 第81回通常総会対応に関する件

境専務理事から、当日午後に開催される第81回通常総会の議事内容及び対応について説明された。

2 本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

境専務理事から、資料に基づき本会事務・事業の経費削減・改善案について説明された。

【説明・報告事項】

1 マイクロチップ装着・登録の義務化に向けた対応に関する件

境専務理事から、傷病を負っていない犬猫についても獣医師によるマイクロチップ情報検索を可能とし、飼い主のもとに迷い犬猫を返還できるようにすること、及びペットショップから飼い主に所有者が変更した際や転居の際に変更登録がなされていないケースにおいても、獣医師が情報検索した際に登録を促して指導できるようにすることが大切との認識で環境省と一致しており、そのためにも獣医師の責務を法律に位置づけて獣医師が所有者に対して指導・助言できるようにすること、さらにAIPOが行っているようにペットショップ等の譲渡人側で変更・登録ができるようにすること、これらについて臨時国会での改正を目指して関係国会議員等に要請していることが説明された。

2 政策提言活動等に関する件

境専務理事から資料に基づき説明された。

3 農場管理認定獣医師制度等に関する件

境専務理事から、いわゆる認定・専門獣医師制度の中で、日本獣医師会として日本産業動物獣医学会が農場管理認定獣医師研修プログラムを策定することとして対応を進めていることが説明された。

資格認定基準は、学会の会員、すなわち地方獣医師会会員であること、5年間以上の農場管理に関する経験を有すること、定められた研修プログラムを受講して試験に合格すること、が説明された。

また、6月21日付けで本会会長から農林水産大臣あてに、公益社団法人日本獣医師会認定専門獣医師協議会を機関の名称として認定要件確認機関の指定申請を行ったことが説明された。

4 世界獣医師大会（WVAC）の日本開催に関する件

境専務理事から、令和8（2026）年4月21日から24日までの4日間、本会が東京都、東京観光財団などとともに東京国際フォーラムで世界獣医師会大会を開催することとして大会準備委員会や大会組織運営委員会の設置準備を進めていることが説明された。今のところ予定参加者6,000人、予算規模は3億円、それから前回1995年同様、各界からの来賓をお招きするとともに、世界獣医師会加盟各国からの日本への訪問を期待していることが説明された。

5 アジア獣医師会連合（FAVA）大会に関する件

境専務理事から、今年10月25日から27日までの3日間、韓国のテジョンでFAVA大会が開催されること

が説明され、参加にあたりツアー等も用意されていることから、多数の申し込みをいただきたい旨説明された。

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境専務理事から当面の関係会議等の開催日程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

村中委員長から最近の動向については本日の議題の中

で触れられているので、これをもって報告に変える旨説明された。

【閉 会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。